

原子力災害に学ぶ

—避難の困難から復旧、復興まで—

講演 桜井 勝延氏(元南相馬市長)
塚本 真如氏(珠洲市圓龍寺住職)

6月15日(日)午前 10 時～12 時

(開場9時30分)

藤沢商工会館 ミナパーク



桜井 勝延氏(写真上)
塚本 真如氏(写真右)
東京新聞より



参加費:

当日 1,000 円/事前申込み 800 円/
大学生 500 円/中・高生無料

☆zoomでのオンライン参加ご希望の方は、
事務所までメールアドレスをお知らせください

【寒川、大庭方面 送迎あります】※事前にご予約ください！

寒川：町民センター(8時30分出発)／大庭：クリエイト駐車場裏(9時出発)

2011年東日本大震災、東京電力第一原発事故から14年。地震・災害大国の日本で原発事故時の避難計画もおざなりに再稼働する中、被災された方々の日常は戻ってはいません。

昨年の能登半島地震では土地や海岸の亀裂や隆起により、想定外の甚大な被害が生じました。珠洲は、かつて住民の粘り強い反対運動で原発建設は頓挫しましたが、もし原発があつたら壊滅的な被害だったはず。その珠洲は昨年9月豪雨に見舞われ、復旧、復興は困難を極めています。

災害、とりわけ複合災害の中でも原発災害の過酷さから、私たちは何を学び、また、復旧、復興で大切なものは何かを知るために、原発事故当時の南相馬市長桜井 勝延さん、かつて反原発運動の中心であり今も復興をめざす人々の中心である、円龍寺ご住職 塚本 真如さんにお話をうかがいます。

【主催】あべともこと共に歩む会／立憲民主党神奈川第12区総支部

TEL：0466-52-2680 FAX：0466-52-2681

E-mail：inochi@shonanfujisawa.com